

都市再生整備計画 事後評価シート
愛荘地区

平成30年3月

滋賀県愛荘町

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	滋賀県	市町村名	愛荘町	地区名	愛荘地区			面積	1270ha				
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	1,070百万円	国費率	39.28%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市交差点)、公園(東部地域公園)、高質空間形成施設(カラー舗装、街路灯整備)、既存建造物活用事業〔旧愛知郡役所〕(旧近江銀行)										
		提案事業	地域創造支援事業(グラウンド拡張、愛知川宿駐車場、町民交流広場)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
交付期間の変更	当初変更	平成24年度～平成28年度 平成 年度～平成 年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	旅人数	延べ/10日/月/4ポイント	1,000	H23	1,800	H28	1,580	△	あり なし	● ○	中山道のカラー舗装、街路灯の整備、街道交流館の着工等により、愛知川宿への関心が高まり旅人が増加している。	平成30年5月
	指標2	近江上布伝統産業会館月別入場者数	人/月	300	H23	400	H28	820	○	あり なし	● ○	中山道の自動車駐車場整備が近江上布館の最寄に完成したことから、近江上布への利便が向上し、近江上布に関心を寄せる人も多く、近畿圏 中部圏 東海圏の旅人が増加している。	平成30年5月
指標3	旧愛知郡役所活用によるまちづくりのワークショップへの参加者数増加率	%	30人	H23	45人(+50%)	H28	-	×	あり なし	● ○	郡役所が工事中であり、今後関心が高まることが期待される。	平成30年5月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	グラウンド拡充の効果の評価	%	-	-		76				保護者に15項目のアンケートを実施、171人から回答があった。回収率66%。アンケートを解析した結果、グラウンドの拡充に効果があったとする評価を得た。		
その他の数値指標2	中山道住人の事業効果の評価	%	-	-		72				中山道愛知川宿の商店等81軒に19項目のアンケートを実施、62軒回答、回収率77%。アンケートの解析の結果、中山道整備に効果があったとする評価を得た。			
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・東部地域公園は、広い芝生の公園であり、地域のグラウンドゴルフ大会等地域の大会に活用されており、地域の交流が盛んになっている。 ・中山道の整備が進むにつれて、地域のまちづくりへの住民の関心は増している。そのことが、アンケート結果にあらわれている。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	旅人調査を毎月行なった。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	今後も継続の予定である。						
	住民参加プロセス	街道交流館整備について観光協会等の関係者から各種の意見を聴取し、整備内容に反映できるよう取り組んだ。旧郡役所においても、将来像を公募委員から意見聴取し、整備内容に反映させた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	今後も引き続き、町と地元の協働の下、まちづくりを進めていく。						
持続的なまちづくり体制の構築	旧郡役所の活用について関心を持つ「こころばえの会」のほか、あらたにNPOを立ち上げて、まちづくりに取り組む住民の存在がみられた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	今後も引き続き、まちづくりに関心を寄せる町民の方々との協働を進めていく。							

様式2-2 地区の概要


愛荘地区(滋賀県愛荘町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 安心・元気・喜びのまちづくり推進 目標1: 旧中山道整備による賑わいの再生 目標2: 地域固有資源の保存・有効活用による文化・学習・交流ネットワークの強化。 目標3: 人にやさしい交通体系の整備による安全・安心の向上	旅人数	単位: 人	1,000	H23	1,800	H28	1,580	H29
	近江上布伝統産業会館入場者数	単位: 人/月	300	H23	400	H28	820	H29
	郡役所まちづくりワークショップ参加者数増加率	単位: %/増加率	30人	H23	45人(+50%)	H28	—	—


町道市線交差点改良事業




東部地域公園整備事業




中山道カラー舗装事業



中山道街路灯整備事業

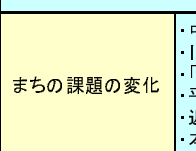


既存建造物活用事業

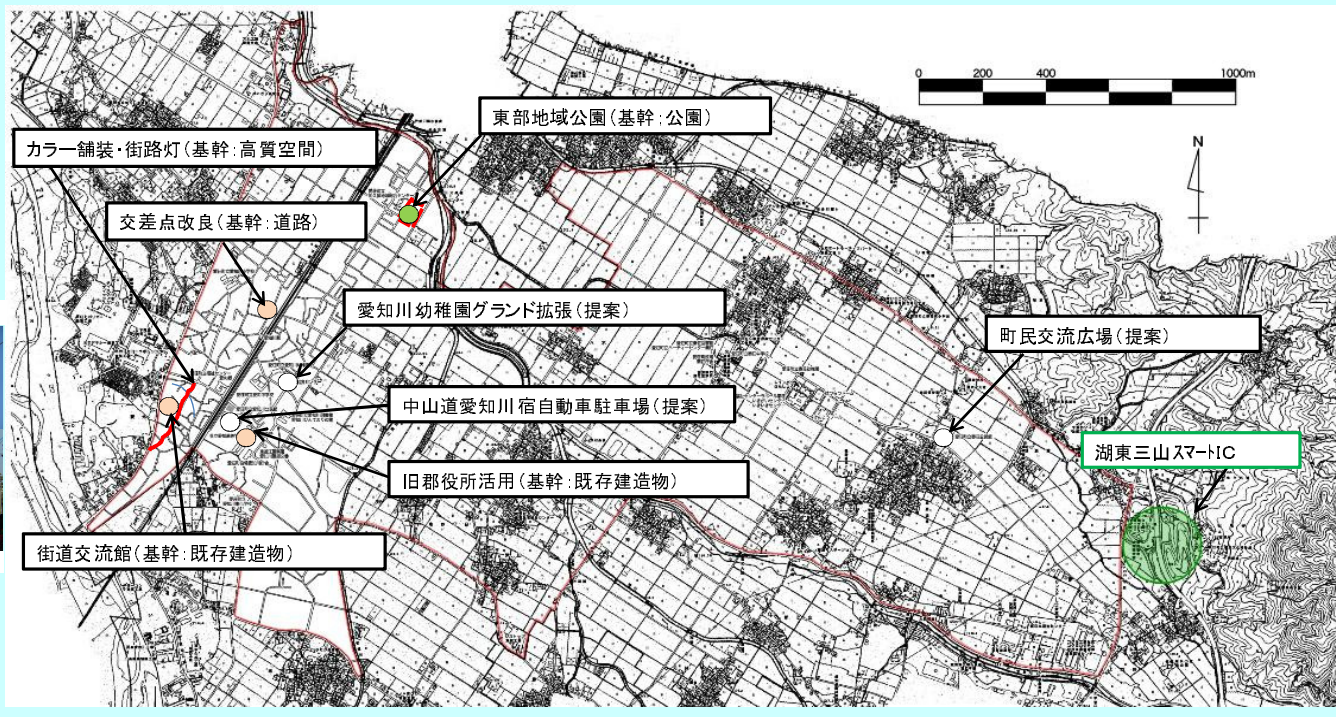


(街道交流)

既存建造物活用事業



(旧郡役所)



東部地域公園(基幹:公園)

カラー舗装・街路灯(基幹:高質空間)

交差点改良(基幹:道路)

愛知川幼稚園グランド拡張(提案)

中山道愛知川宿自動車駐車場(提案)


旧郡役所活用(基幹:既存建造物)

街道交流館(基幹:既存建造物)


町民交流広場(提案)

湖東三山スマートIC


町民交流広場整備事業



中山道自動車駐車場



愛知川幼稚園グランド拡張事業



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道愛知川宿の賑わいを取り戻すために、中山道の車道と街路灯及び旧近江銀行等建物を活用した「街道交流館」の整備を着手したが事業の途中であるので、完了に向けて引き続き事業を進める必要がある。 ・旧郡役所を保存活用を行うための事業に着手したが、事業途中であるため、完了に向けて引き続き事業を進める必要がある。 ・「街道交流館」「旧郡役所活用」の両施設が、本町の観光施設の核となるよう、また町民の交流施設の場となるよう、地域のまちづくりの各種団体と協力し、引き続きまちづくりのソフト対策を中心にして進める必要がある。 ・平成25年10月21日に完成した「湖東三山スマートIC」からの観光客を中山道「愛知川宿」に導けるよう、容易にアクセスできるよう道路整備等を引き続き検討する必要がある。 ・近江鉄道「愛知川駅」は愛荘町の西に位置する交通インフラの重要交通結節点であることから、鉄道網を通じて本町を訪れる観光客等の歩行の安全を確保するため、引き続き歩道の確保等を進める。 ・本町の人口は現在も横這い状況にあり、こどもの数も多い。愛知川幼稚園のグランド拡張を行ない、園児の活動に良い影響を及ぼしているところであるが、こどもが安全に遊べる広い遊び場を求める声が多い。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道に整備される「街道交流館」と、中山道の周辺に位置する「旧郡役所の歴史的な建造物」の他、先進的な図書館としてすでに注目されている「愛知川図書館」、美術館を兼ねる愛知川駅の「るーぶる愛知川」、中山道を旅する人の休憩所である「恵智の駅」などを活用し、中山道の周辺を周回できる案内などを行なう。 ・湖東三山スマートICの交通量は、当初の予想を上回り、年間100万台を超える交通量があることから、県外から本町を訪れる観光客を湖東三山と共に、中山道「愛知川宿」へと導けるよう道路案内標識の整備と合わせて、道路整備を関係者と協力して事業を進める。 ・近江鉄道「愛知川駅」周辺の賑わいを取り戻す工夫を検討し、観光客誘致に繋がる中山道の魅力を各種広報媒体を活用して発信していく。 ・国道421号の鈴鹿トンネルの完成後、三重県を経由して本町を訪れる観光客が増加している。今後、中部圏域にも拡大して、愛荘町の観光PRに取り組む。